

## 第8回奈良県働き方改革推進協議会 議事要旨

### 【経済界 委員コメント】

- 産業の動向や社会情勢について、知る機会を増やすために社内アカデミーを作り、若手を中心に、他の企業への視察や奈良県の地域のイベントに参加している。社員の未来的思考を作ることで、自ずと労働生産性の向上に繋がると考えている。
- 介護報酬により経営している業種の性質上、真面目にやった分の評価が中々得られないことが課題として挙がっており、通勤手当の拡充や冠婚葬祭を含めた特別有給休暇の追加付与等が話に出てきている。

### 【労働界 委員コメント】

- 働き方改革の推進というのは、労働者から企業・行政に対してこれまで様々な提案をしてきた分野であり、2024 春闘の中でも労働協約の見直し等により、多様な人材が働き続けられる環境整備等様々な課題に取り組んでいるところ。
- 多くの会議をペーパーレス化しており、案内文書・会議資料についても、データで送付し、印刷代や郵送料、印刷時間等の削減を行っている。
- 人手不足に悩んでいる業界で、発注から品出しを全てアルバイト・パートに任せている事業所が多くあり、アルバイト・パートの方の時間給を上げることを目標のひとつとしている。
- 賃上げに関して、一時金に加算している企業が多く、基本給を引き上げることに抵抗を感じている経営者が多い印象を受けている。
- 年次有給休暇の取得について、仕事の合間を縫って休暇を取る考え方をやめ、3ヶ月、1年先まで休暇の予定を入れ、その休暇に向けて業務を行う「休暇を軸に働く」働き方に力を入れている。

### 【オブザーバー コメント】

- 「年収の壁」の関係により、賃金アップに伴い、労働時間を削減しなければならない状況が生まれる。深刻な人手不足問題を加速させてしまう恐れがあるため、人手不足と賃金アップ両方の解決策を検討しなければならない。
- 働き方改革が進んでいく中で、労働時間の短縮や休暇の取得促進がよく挙げられるが、決して働くことが悪いことではない。どのような状況でも自分の仕事に誇りを持つことは大事だと感じる。
- 建設業界では深刻な人手不足に悩まされており、入札も不落となる問題がよく話題となっている中で、外国人労働者が今まで以上に必要ではないかと感じている。